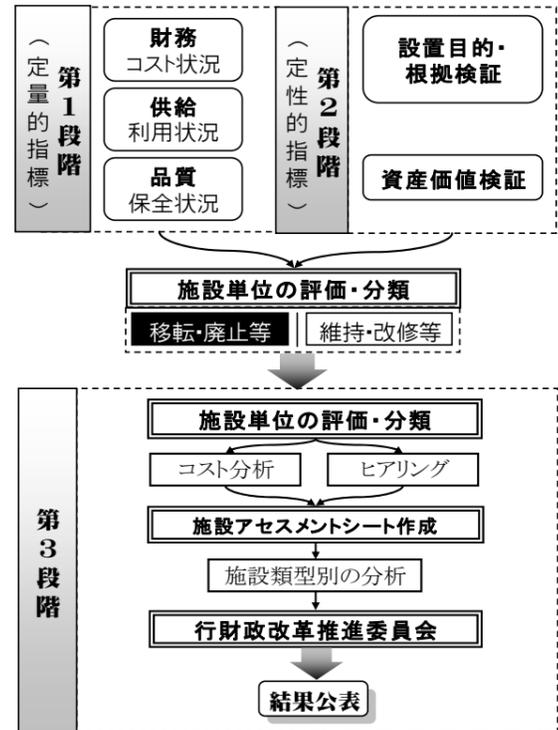


施設アセスメント結果(建物等評価編) 概要版

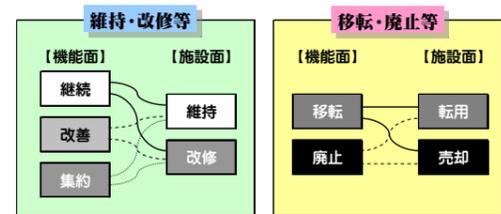
施設アセスメント(建物等評価編)の概要

【対象】延床面積 200 ㎡以下の小規模の棟や倉庫等の附属施設を除いた全ての県有施設 (644 施設、延床面積約 350 万㎡)

【施設アセスメント(建物等評価編)の流れ】

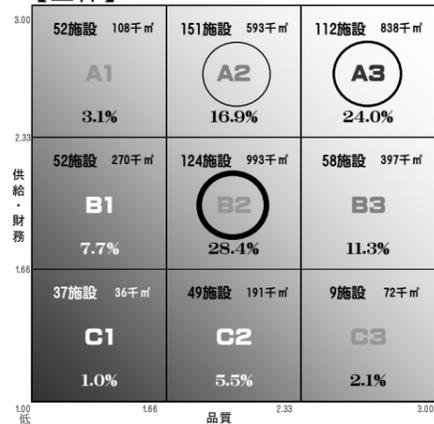


【評価の分類・組み合わせ】



第1段階(定量的分析)

【全体】



【施設類型別】

施設類型	A1	A2	A3
庁舎等	1.9%	22.5%	34.6%
教育施設	1.8%	21.8%	3.7%
警察施設	0.4%	12.3%	1.0%
職員住宅	6.1%	18.7%	39.7%
県営住宅	10.4%	4.9%	14.3%
その他	4.0%	1.9%	3.9%

※「%」は延床面積比率

第2段階(定性的分析)

【全体】

区分	運用面			計	区分	運用面		計
	継続	改善	集約			移転	廃止	
維持	19.1%	12.8%	4.9%	36.8%	転用	0.2%	0.6%	0.8%
改修	15.9%	31.9%	11.9%	59.7%	売却	1.0%	1.7%	2.7%
計	35.0%	44.7%	16.8%	96.5%	計	1.2%	2.3%	3.5%

【施設類型別】

施設類型	区分	運用面			計	区分	運用面		計
		継続	改善	集約			移転	廃止	
庁舎等	維持	15.6%	2.1%	18.4%	36.1%	転用	0.2%	0.8%	1.0%
	改修	11.7%	28.1%	19.6%	59.4%	売却	2.9%	0.6%	3.5%
教育施設	維持	7.0%	17.2%		24.2%	転用	0.4%	0.7%	1.1%
	改修	20.9%	36.8%	14.7%	72.4%	売却	0.4%	1.9%	2.3%
警察施設	維持	40.2%	14.2%		54.4%	転用			
	改修	23.6%	20.5%		44.1%	売却	1.5%		1.5%
職員住宅	維持	11.3%	3.1%	3.1%	17.5%	転用		1.5%	1.5%
	改修	33.0%	12.9%	22.7%	68.6%	売却		12.4%	12.4%
県営住宅	維持	39.8%	17.8%	1.2%	58.8%	転用			
	改修	7.3%	33.6%		40.9%	売却		0.4%	0.4%

※「%」は延床面積比率

まとめ

区分	施設類型ごとの分析
庁舎等	<p>運用面: 「集約」「改善」が多い⇒スペースの活用やコスト削減等にバランスよく取り組む必要がある。</p> <p>施設面: 「改修」が多い。⇒2024年と2025年に大きな費用負担が見込まれる。</p> <p>全体: 費用負担の削減と平準化が求められる。</p>
教育施設	<p>運用面: 「改善」が半数以上と多い⇒個々に利用度等の課題を抱えている施設が多い</p> <p>施設面: 「改修」が多い⇒老朽化対策が必要</p> <p>全体: 老朽化対策とともに総量適正化や費用負担の平準化等の課題に取り組む必要がある。</p>
警察施設	<p>運用面: 「継続」が多い</p> <p>施設面: 「維持」が多い</p> <p>全体: 施設の状態や活用状況が良好な状態であり、引き続き良好な状態を継続していくため、保全の取組等を実施していく必要がある。</p>
職員住宅	<p>運用面: 「継続」が多い一方で「廃止」も多い</p> <p>施設面: 「改修」が多い</p> <p>全体: 知事部局、教育委員会、警察本部それぞれの計画見直しのタイミングを活用し、将来の方向性を具体的に検討していく必要がある。</p>
県営住宅	<p>運用面: 「継続」「改善」が多い</p> <p>施設面: 「維持」「改修」が多い</p> <p>全体: 「県営住宅再生計画」の見直しを行いながら良好な状態を継続していく必要がある。</p>

コスト分析

